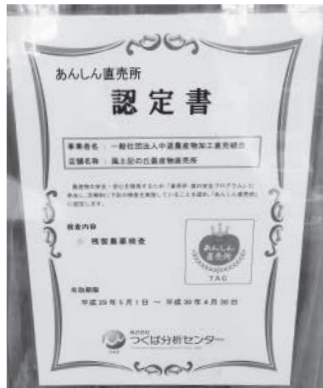


「美味しい」に「安心・安全」をのせて お届けします

中央自動車道甲府南ICの横で営業を行っている風土記の丘農産物直売所(米山優理事長 会員204人)は、平成28年から、店頭で販売している



安全を証明する認定書

農産物の安全性を保證する「あんしん直売所」の認定を受け運営を行っている。この認定は、茨城県にある「つくば分析センター」が、残留農薬検査や細菌検査などを実施、農産物の安全性を証明し

た直売所に対して行っているもので、当組合は山梨県内で唯一認定を受けた「あんしん直売所」となっている。

最近では食の安全に対する高い意識が定着し、農産物は「新鮮」で「美味しい」だけでなく、「安全・安心」であることが当然とされ、より質が高く信頼性の高い農産物を提供することが求められている。こうした中、組合では、安全が証明された農産物を安定して提供するために、直売所に納品する生産者には、種まきから収穫までの間の農薬名や使用量などを記録する生産履歴記帳の提出を義務付け栽培に関する管理を徹底、農産物直売所間の競争の中で他との差別化を図るため、農産物の「安全・安心」のPRに取り組んできた。

更に認定制度に着目し、認定条件を満たす200項目に及ぶ農薬成分検査に適應するための栽培

●風土記の丘農産物直売所
(一般社団法人中道農産物加工直売組合)

に取り組んできた。結果として生産者や直売所の従業員等が生産管理に対する意識を高める機会となり、他の直売所との地域性や品揃え以外の差別化に向けた活動へと繋がるなど組合としての相乗効果も十分に得られている。

組合では、信頼度の一層の向上のためのステップアップとして、今後はGAP(農業生産工程管理)の認定取得も目指していく。



店内にステッカーを貼りPR